

諾否(ダクヒ)承諾するか拒否するか。

多言(タゲン)言(ことば)が多いの意、おしゃべり。

他言(タゴン)他の人に言うこと。

惰性(ダセイ)惰は怠ること。惰性はなまけぐせの意。物体が外力の影響を受けないかぎり、現在の状態を続けようとする性質をいう。

蛇足(ダソク)蛇を描く競争をしたときに、足を書き加えたために負けた、という故事から、“余計なつけたし”の意に用いる。

茶毗(ダビ)火葬(梵語)。茶と茶との違いに注意。

惰力(ダリョク)惰性の力。

弾劾(ダンガイ)罪や不正を調べ上げて、公開し、責任を問うこと。劾は追求の意。

探索(タンサク)探は手さぐり、索は求める。人を捜し求めること。

断食(ダンジキ)食を断つの意。修業のため、または療法として一定期間食べ物を食べないこと。

端緒(タンシヨ)端は物の切れはし、緒は糸口。ともに“物のはし”であるから、物事の初めを表わす。また、手がかりの意。

耽溺(タンデキ)耽は<sup>はなはだ</sup>甚しく<sup>たの</sup>楽しむこと。溺はおぼれること。悪いことにおぼれ、そればかりを楽しんで他を顧みないことを言う。

耽読(タンドク)夢中になって読み耽けること。

堪能(タンノウ)堪は<sup>カンニン</sup>堪忍の堪で“たえる(も

ちこたえる)”が本義で、能と同じ意がある。物事を巧みに仕遂げる能力のあること。カンノウが正しく、タンノウは慣用。例 彼は書に堪能だ(わが国では、“じゅうぶんに満足する”の意にも使う。例 じゅうぶんに堪能した)

蛋白質(タンパクシツ)蛋は卵。卵の白味のような物質という意味のことば。

短兵急(タンペイキュウ)兵は兵器、短兵は短い武器。だしぬけに襲うには短い武器のほうが役だつので、“急襲する”ことを短兵急と言う。にわか、だしぬけ、の意。

団欒(ダンラン)欒は棟(おうち)で喬木。夕方など木陰で涼を取るのに適している。一家ひと所に集まってなごやかに楽しむことを言う。